

平成23年度 事業概要



平成23年4月

国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所

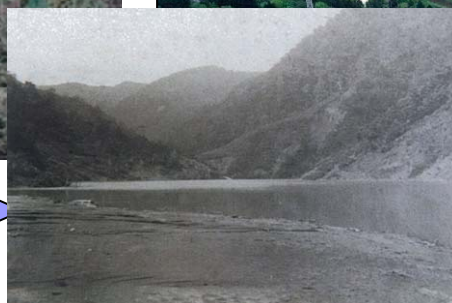


流域の特性等

- 濃尾断層をはじめとする多くの断層が走り、荒廃地が多い非常に脆弱な地質
- 河道閉塞をもたらす大規模崩壊(100万 m^3 超)が過去何度も発生
- 年間平均降雨量が3,000mmを越える日本有数の多雨多雪地帯
- 標高1,300m前後から一気に50mまで下がるV字型の急流河川
- 集落が点在し、谷底に国道や鉄道が走る災害に弱い生活基盤
- 荒廃した人工林が多いが、清冽な水と豊かな動植物が豊富に存在

ナンノ谷大崩壊(明治28年発生)

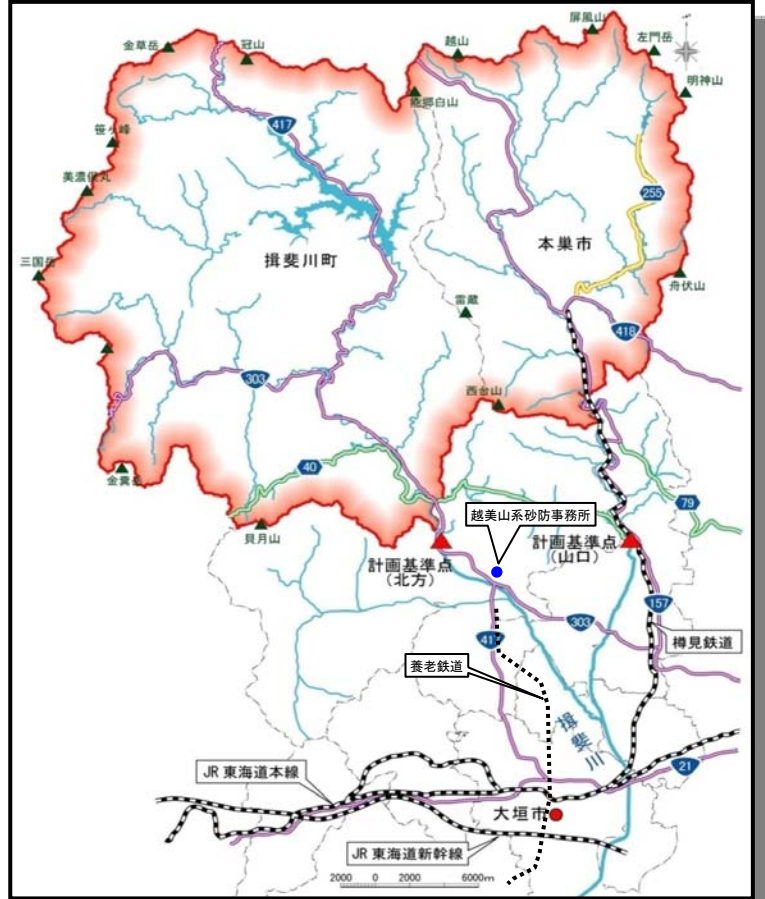
東横山地すべり(平成18年発生)



ナンノ谷大崩壊による崩落土砂(153万 m^3)により湛水、決壊し、下流の家屋23戸が流出

越美山系砂防事務所事業区域図

流域位置図



越美山系砂防の略歴

- 昭和40年 9月14・15日の集中豪雨により徳山白谷、根尾白谷の大崩壊発生と
共に各地で大きな被害発生
- 11月 災害のための砂防調査開始
- 昭和43年 4月 越美山系砂防工事事務所開所
- 昭和50年 8月 台風6号により坂内村で大きな被害発生
- 昭和51年 9月 台風17号により管内全域で大きな被害発生
- 昭和56年 昭和55年暮れから昭和56年1月にかけて豪雪で被害発生
- 昭和58年 6月 集中豪雨により能郷倉見で大崩壊発生し根尾西谷川をせき止め
- 昭和61年 8月 台風13号により根尾村で被害発生
- 平成元年 9月 秋雨前線による根尾村、久瀬村、谷汲村で大きな被害発生、
久瀬村、根尾村(樽見より下流)区域が直轄編入
- 平成10年 7月 豪雨により根尾村各地及び藤橋村梶谷で被害発生
- 平成14年 7月 台風10号により藤橋村、根尾村において浸水被害発生
- 平成16年 2月 本巢町、真正町、糸貫町、根尾村が合併し本巢市となる
- 平成17年 1月 揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村が合併し
揖斐川町となる
- 平成18年 5月 揖斐川町東横山で地すべり発生
- 平成20年 9月 豪雨により揖斐川町各地で被害発生
- 平成22年 1月 揖斐川町坂内川上で山腹崩壊発生

事業実施の基本方針

1. 過去の大災害を繰り返させない

過去の大災害と同程度の豪雨時にも、越美山系及び下流域の氾濫被害を防止するための砂防施設を整備する。

2. 下流を洪水から守る横山ダムの堆砂を軽減する

横山ダムに流入する土砂を軽減するための砂防施設を整備する。

3. 土石流から集落を守る

土石流により被害を受けるおそれのある集落や道路等を守るための土石流対策砂防施設を整備する。

平成23年度事業費

項 目		平成23年度	単位(千円)
砂防事業費	直轄砂防事業費	1,684,800	
	揖斐川	1,179,360	
	根尾川	505,440	
	総合流域防災対策費	61,546	

(注1) 数字は事業費ベース(事務取扱費を除く)です。

(注2) 平成23年4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなります。

事業の進め方

- 大規模崩壊による土砂流出も考慮し、緊急度や効果の高い箇所を優先的に整備する。
- 地元と連携し、住民と対話しながら、現地に即した整備を行う。
- 新技術を活用し、建設コストの縮減に努める。
- 豊富な動植物に配慮し、美しい景観と環境に調和した整備を行う。
- 天然ダム等の大規模土砂災害を想定し、危機管理計画や関係機関との連携体制を充実させる。
- 大きな災害が発生した際には、国土交通省が実施する応急対策の、現地窓口・拠点としての機能を果たす。
- 地域との防災訓練の共同実施や、光ネットワークを用いた現地映像等の防災情報提供を図る。
- 防災学習やホームページ等を通じて事業への理解を深める。

災害に対する備え

防災訓練(揖斐川町における総合防災訓練)



地域の関係機関を含めた天然ダム危機管理講習会



流域の皆さんを対象とした学習

山郷倶楽部



総合学習



環境対策

魚道の整備(山の谷第1砂防堰堤)



環境調査

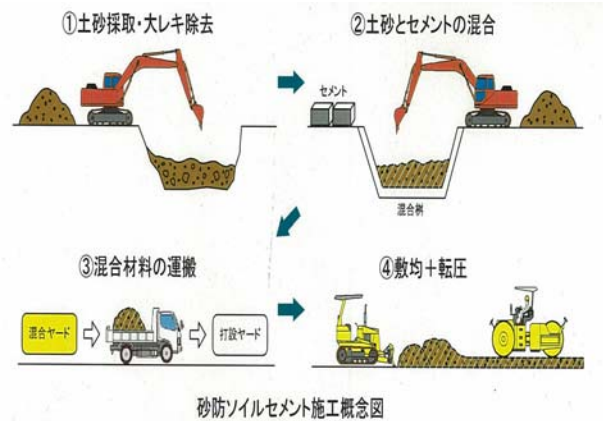


【敷原谷第1砂防堰堤】

砂防ソイルセメントを採用し経済性、環境に配慮した整備を行う。



砂防ソイルセメント工法の概念図



【高地谷第1砂防堰堤】

大規模砂防堰堤により荒廃した溪流からの土砂流出を防止し下流の集落を災害からまもる。



【外津汲内谷第1砂防堰堤】

平成20年9月災害で土石流が発生した溪流において鋼製砂防堰堤の整備を行う。



【瀬戸谷第1砂防堰堤】

土石流危険溪流である瀬戸谷の土石流対策として砂防堰堤を整備する。



【八草川山腹工】

平成22年1月に発生した山腹崩壊災害の復旧を行う。法面掘削には無人化機械により安全に施工できる工法を採用。

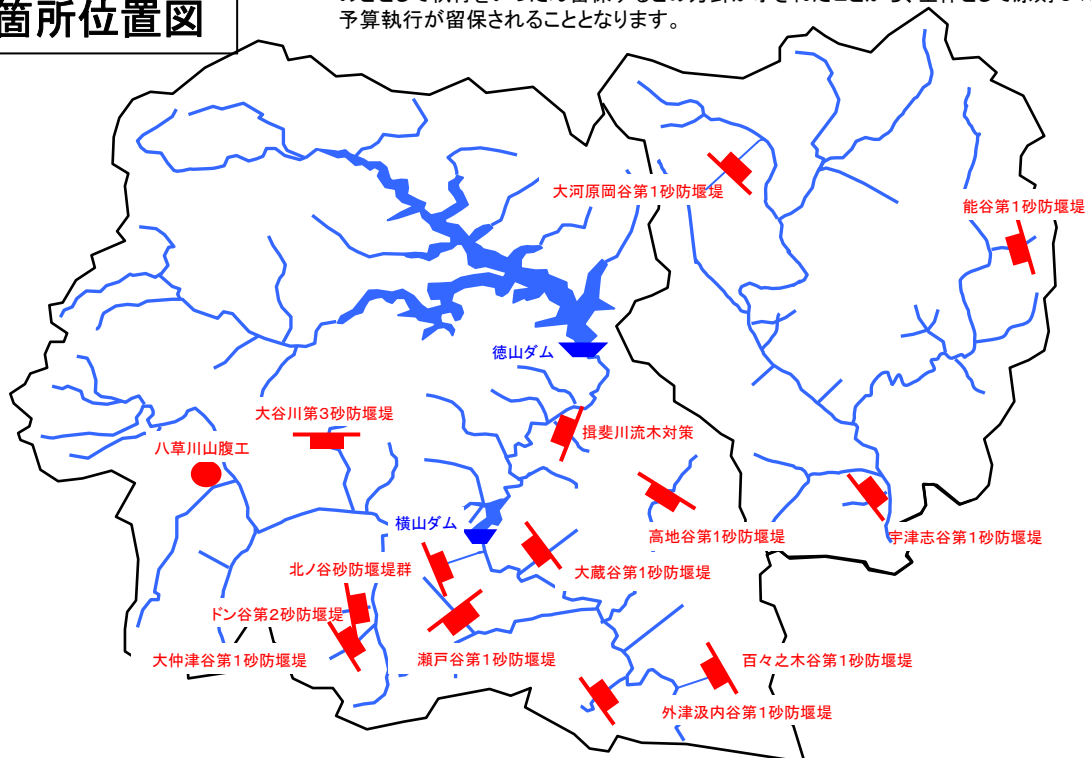


H23年度事業予定箇所

番号	河川名	渓流名	箇所名	工事場所
1	揖斐川	高知川	高地谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町小津
2	揖斐川	ドン谷	ドン谷第2砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町坂内坂本
3	揖斐川	大谷川	大谷川第3砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町坂内広瀬
4	揖斐川	北ノ谷	北ノ谷砂防堰堤群	揖斐郡揖斐川町西横山
5	揖斐川		揖斐川流木対策	揖斐郡揖斐川町
6	揖斐川	瀬戸谷	瀬戸谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町日坂
7	揖斐川	内谷	外津汲内谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町外津汲
8	揖斐川	大蔵谷	大蔵谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町椋原
9	揖斐川	八草川	八草川山腹工	揖斐郡揖斐川町坂内川上
10	揖斐川	大仲津谷	大仲津谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町坂内坂本
11	揖斐川	百々之木谷	百々之木谷第1砂防堰堤	揖斐郡揖斐川町乙原
12	根尾川	宇津志谷	宇津志谷第1砂防堰堤	本巣市根尾宇津志
13	根尾川	能谷	能谷第1砂防堰堤	本巣市根尾下大須
14	根尾川	岡谷	大河原岡谷第1砂防堰堤	本巣市根尾大河原

(注) 平成23年4月1日の閣議において財務大臣から公共事業予算・施設費について5%を一つのめどとして執行をいったん留保するとの方針が示されたことから、全体として原則5%程度の予算執行が留保されることとなります。

事業箇所位置図



防災情報

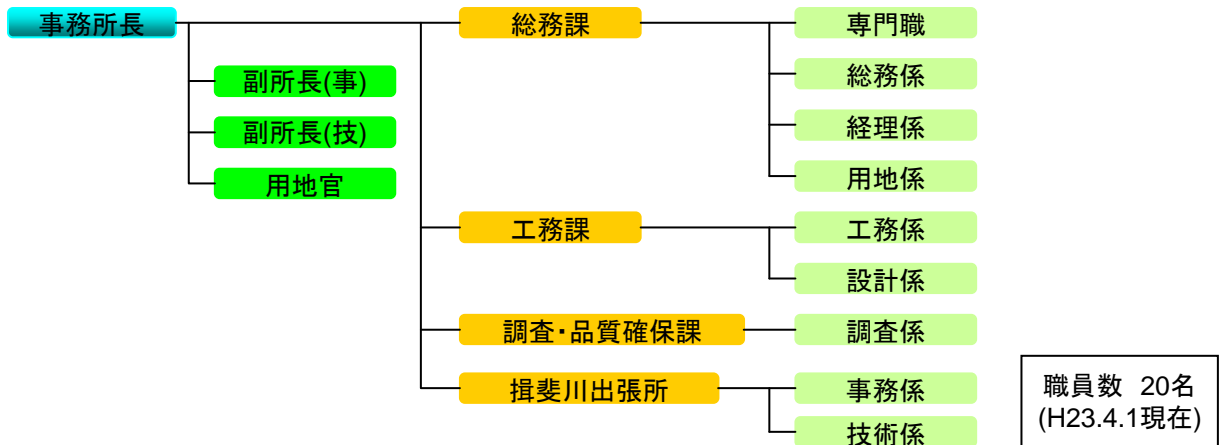
越美山系防災情報 越美山系砂防事務所

観測時刻: 2010年04月12日 19時00分現在

カメラをクリック

光ファイバーによる迅速な情報提供

越美山系砂防事務所の組織



問い合わせ先 越美山系砂防事務所

〒501-0605 岐阜県揖斐郡揖斐川町極楽寺137番地

mail: etsumi@cbr.mlit.go.jp

HP: <http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/index.html>

総務課 Tel(0585)22-2161 Fax(0585)22-2174

工務課 Tel(0585)22-2162 Fax(0585)22-6971

調査・品質確保課 Tel(0585)22-2163 Fax(0585)22-6971

揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303番地3

Tel(0585)22-3526 Fax(0585)22-6626